

大手金融機関が採用した ファイル無害化+仮想ブラウザによる インターネット分離

日本のインターネット史を リードし続ける草分け ISP

1992年、国内における商用ISP (Internet Service Provider) の草分けとして創業し、以来、目まぐるしく変わるインターネットの歴史のなかでも常にリーディング・カンパニーとしての役割を果たし続けているインターネットイニシアティブ (IJ)。同社はいま、インターネット接続事業で培った高い技術力をベースに、クラウドをはじめとするアウトソーシングサービス、WAN サービス、SIなどをトータルに提供するソリューションプロバイダーとして事業領域を拡大してきた。

大手・中堅企業や官公庁を中心に約12,000もの組織に導入され、その信頼性が高く評価されているIJでは、サイバーセキュリティ領域にも注力しており、さまざまなサービスを展開している。そのひとつが、アズジェントが販売、サポートを行っている「Votiro Disarmer」(ボティロ ディスアーマー) を活用したファイル無害化サービスである。Votiro Disarmer は、ファイルがマルウェアを含んでいる「可能性」を重視し、メールの添付ファイルやWeb経由でダウンロードしたファイル、USBメモリ等による持ち込みファイルは無害化するマルウェア対策製品だ。一般的にエクスプロイト(脆弱性を利用した攻撃をするためのスクリプトやプログラム)やマルウェアはファイルのメタデータや空ビットスペース、マクロの中に潜んでいることから、これらのデータのチェック、ファイルに不要なデータ部分の削除、あるいは意味のない情報への書き換えによって、無害化を行う。これにより、シグネチャの存在しない未知の攻撃も防御することができる。



IJ プロフェッショナルサービス第一本部
プロフェッショナルサービス3部3課課長
長岡翔平氏

「現在、我々の部署では『マルチワークスタイル』をテーマにクラウドサービスをフル活用した業務環境の企画・導入や顧客の業務効率向上を目的としたデータ分析等、オフィスITに関わるソリューションを幅広く展開しています。その中でも、ここ数年セキュリティを重視する金融機関のお客様を中心に『インターネット分離』の導入機会が増加しています。インターネット分離システムの構成は、基本的に自治体情報システム強靱性向上モデルがベースになりますが、システムのコアとなる仮想ブラウザのほか、外部と内部でファイルをセキュアにやり取りするための仕組みも

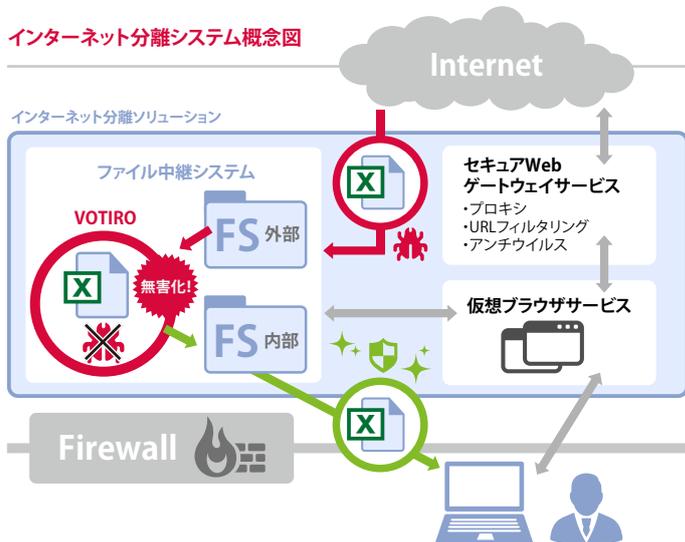
重要な構成要素となります。解決策として着目したのが『Votiro Disarmer』でした」と、IJプロフェッショナルサービス第一本部プロフェッショナルサービス3部3課課長の長岡翔平氏は経緯を振り返る。

インターネット分離ソリューションのファイル無害化に「Votiro Disarmer」を採用した大きな理由が、国内46都道府県、750以上の自治体に利用されているという圧倒的な導入実績だった。金融機関におけるインターネット分離ソリューション・プロジェクトは2016年10月にスタートし、PoC(概念実証)などを経て翌2017年3月末には本番環境のリリースに至ったことからわかるように、きわめてスムーズに進んでいった。

仮想ブラウザ+ファイル無害化で セキュリティをより強固に

IJが金融機関に構築したインターネット分離ソリューションでは、社内からのインターネットへのアクセスはすべてIJが強みを持つ仮想ブラウザサービス経由で行われ、ゲートウェイでもセキュアWebゲートウェイサービスやプロキシ、URLフィルタリング、アンチウイルスなどでセキュリティを確保している。そしてインターネット側からファイルをダウンロードする際には「Votiro Disarmer」を核とするファイル中継システムを経由することになる。同システムには外部ファイルサーバーと内部ファイルサーバーの2種類が存在しており、それぞれの間で「Votiro Disarmer」が稼働している。

インターネット分離システム概念図



IJが提供するインターネット分離ソリューションの概念図

大手金融機関が採用した ファイル無害化＋仮想ブラウザによるインターネット分離

具体的には、外部ファイルサーバーにダウンロードされたファイルに対して自動的に「Votiro Disarmer」が無害化処理を行い、内部ファイルサーバーへと転送する。この無害化処理により、既知・未知のマルウェアの侵入を防ぐ。

「Votiro Disarmer」の設計構築テストなどを担当した見田裕紀氏は「ファイアウォール内の社内端末からは、システム的にもルールのにも内部ファイルサーバーの無害化されたファイルにしかアクセスできないようになっています。これにより、仮想ブラウザを利用したインターネット分離において、さらなるセキュリティ強化を図ることができました」と語る。



IIJ プロフェッショナルサービス第一本部
プロフェッショナルサービス 3部3課
見田裕紀氏

プロジェクトマネージャーを務めたエンジニア 松下溪氏は「細かいところで異なる部分はありますが、1社目の金融機関をモデルケースにできたので、さらにスムーズにプロジェクトを進めることができました」とコメント。現在はさらにいくつかの大手金融会社からインターネット分離ソリューションの引き合いが来ており、こうした状況を受けてIIJでは、他の産業への展開も目指していく構えだ。

最後に長岡氏は、今後の展望について次のように語った。

「サイバー攻撃のリスクがますます高まるなか、セキュリティ意識の高い企業・組織は自治体や金融業界以外にも増えていくと見ています。そうした企業にとって、自動的にファイル無害化を行う『Votiro Disarmer』はうってつけのソリューションだといえるでしょう。アズジェントには『Votiro Disarmer』の活用に関わるさまざまなサポートや情報提供はもちろんのこと、多様な要望に耳を傾けてくれるなど、ファイル無害化ソリューションの提供拡大に向けた頼もしい存在として期待しています」

自治体・金融業界以外にも拡大を目指す

金融機関におけるインターネット分離ソリューション構築プロジェクトを短い期間で成功させたIIJの実績は、業界内に知れ渡ることとなった。その結果、別の大手金融機関からもインターネット分離の導入が決定したのである。同社でのインターネット分離ソリューション構築プロジェクトは2018年8月にスタートし、「Votiro Disarmer」を含むシステム全体の引き渡しを同年11月半ばに完了させるという、よりスピーディな展開を見せた。



IIJ プロフェッショナルサービス第一本部
プロフェッショナルサービス 3部3課
エンジニア
松下溪氏



導入事例

株式会社インターネットイニシアティブ

<https://www.iiij.ad.jp/>

所在地：東京都千代田区富士見 2-10-2

飯田橋グラン・ブルーム

【事業内容】

インターネット接続サービス、WAN サービスおよびネットワーク関連サービスの提供、ネットワーク・システムの構築・運用保守、通信機器の開発及び販売

問い合わせ先



株式会社アズジェント

〒104-0044 東京都中央区明石町 6-4

TEL：03-6853-7402 E-mail:info@asgent.co.jp

<https://www.asgent.co.jp/>

※記載内容は2019年8月現在のものです。 ※文中の社名、製品名は各社の商標または登録商標です。